

## 須磨にシーワールドが誕生すれば、うおずみにパワワールドあり!

〜踊りに行こうよ 青い海のもとへ 二人で歌おう  
明るい恋のリズム でっかい太陽が恋の女神なのさ  
踊りに行こうよ 海は友だちななのさ シーサイド・バウン  
ド ゴー・バウンド! 《ザ・タイガース/1967年》

時は2024年6月。スマスイが須磨シーワールドと  
して生まれ変わりました。入場料が約3倍に跳ね上  
がる中でも、家族連れで毎日大盛況のレジャーランド。  
お父さんは自家用車の運転に幼子の抱っこ、ロング・ウオ  
ークと大活躍。疲れて寝入った子のヨダレで肩の部分がビツ  
シャンコになったパパの一張羅。夜勤明けをおして家族サービスし、ベン  
チでひと寝入りする姿。ふだんよくお母さんに怒られているパパだけど、  
結構頑張っているんだよ〜と、見せてあげたいです、父の背中。

高度経済成長期、週休1日で働き詰めに働きつつ家族を養ってきたパ  
パたちの若き日に想いを馳せ、今年も父の日を迎えました。

うおずみでは「洋風ちらし寿司」をランチにご用意  
して、敬意を表しました。うおずみの超ベテランパパ  
の皆様、バンザイ!

Happy  
Father's  
Day

おとうさん  
の日  
おめでとう



▲父の日ランチ、  
洋風ちらし寿司



うおずみコレクション②

二〇二四年春夏☆ファッションチェック



ここでは「うおずみコレクション 2024 春夏号」として  
お写真を掲載しました。どうです? ゆるやかなヴィーナ  
ス・ラインを描くパンツ・ルックに、カットソーとお揃い柄  
のマスクや、流行りのゆるシルエットを採用したチュニ  
ックなどなど。職員の日も楽しませてくれています。

「女性のドレスは有刺鉄線の柵のようである  
べきね。視界を遮ることなくその目的を果  
たしているの」—ソフィア・ローレン

含蓄のある言葉を残したのは、1950~70  
年代に輝きを放ったヨーロッパの映画スター  
です。

うおずみではファッショ  
ンには一家言ありという  
ご婦人が多くご利用され  
ています。



# 厨房だより 今が旬！黄金にかがやく巨大魚、シイラをご賞味あれ



うおずみでは、シルバーやピーチシャークなど、聞き慣れない名の魚料理が献立にラインアップされますが、この初夏に登場したのは「シイラ」。夏が旬で、4歳を過ぎると全長が1mを超す巨大な魚です。島根では大衆魚として広く知られています。ハワイではマヒマヒ、英語ではドルフィンフィッシュ、スペイン語ではドラド(金色)とも呼ばれます。

6/18にかば焼き、26日に七味焼き(左の写真)、30日には照り焼きと、シイラ料理黄金の三部作をご賞味いただきました。モチっとした食感、あっさりとした淡白な味わい。どの焼き方でも「うまい！」‘80年代にヒットを飛ばした米国のパーカッション奏者も「シーラ、いい！」と舌鼓を打ったとか。偏った年代的オヤジ・ギャグですみません💦失礼しました。

## メニュー・カミングスーン

7/24 《土用丑の日》

うなぎ入り散らし寿司

7/30 《ご当地フェア・沖縄県》

沖縄そば

がんばれ日本!!

☆美味しいものをいっぱい

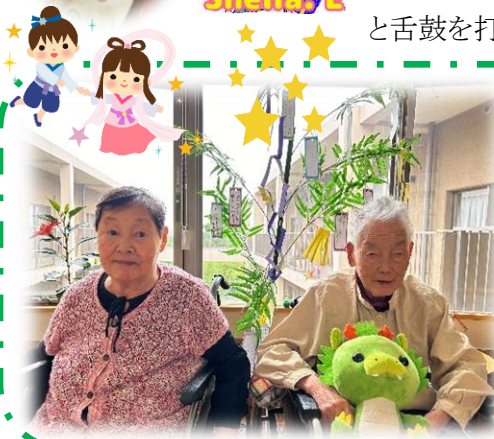
食べて、猛暑を乗り越え

ましょう!



## Viva! TANABATA

2024年、天の川に懸けるねがいは何ですか？  
いつもは生の笹を立てておりましたが、今年ユニットではプラスチックのもの(写真・左)に変えてみました。その方が長く飾れるからです。デイサービスでは、いつものように生の笹を立てました(写真・右)。ご面会の際には是非ご覧くださいね。



## うおずみ春夏秋冬インフォメーション

●<再通知> 各種保険証・認定証の更新時期です <重要!>

①介護保険負担限度額認定証(7月末まで)

既に更新申請書類が発送されました。対象となる方は更新手続きをお忘れなく。

②後期高齢者医療被保険者証、同標準負担額減額認定証(7月末まで)

更新分が届いたら、必ず事務所へご持参下さい。



パリ五輪

7月26日開幕!

### カラダはクールに、ハートは熱く、うおずみの夏

《訪問理美容》 7/19(金)、8/23(金)

《アイス週間》 7/22(月)~26(金)



日本選手団のメダルラッシュで  
我が国にもっとパワーを!!

## 編集後記

幼子が親に甘えながら歩いてゆく姿を見ると、実に微笑ましくなります。無条件に信頼して、子が親に身も心も委ねている様子。

長男が4~5歳くらいのある日。食卓を囲んでいると、TVで芸能人の訃報が報道され、「いつかお父さんもお母さんも死ぬんやで」と軽く言うと、長男が大粒の涙をこぼしたのです。そんなのにこの能無し親のことを慕ってくれて、優しい子に育っているんだと、もらい泣きしそうになった瞬間でした。あの日のことは忘れません。やがて、ご多分にもれずこの2世代との関係はギクシャクし、私が虚勢を張ったメッキもはがれ。今は「このクソ親父、早よ〇ね」と思われぬよう天の川に祈ってます。

⑥輪投げ(デイサービス)

